

ふるさとふちゅう

【第10回】西国街道を歩きませんか（5）

再発見

船越峠を下り、県庁行き府中永田バス停の手前を斜め左に進むと、左手の駐車場横に地蔵堂が建っています。中央の地蔵の台座には三界万霊と彫られ、右に水子地蔵、左下に抱え地蔵が安置されています。戦後しばらくは中央の地蔵のみが田の畔にぽつんと立っていたようです。野ざらしの地蔵に簡単な屋根がつけられ、小堂となり、今の地蔵堂になったとのこと。三界万霊の地蔵はこの世のあらゆる生命あるものの霊を供養する地蔵です。その後、流産や死産などで亡くなった子を供養する水子地蔵、願い事を



しながら抱きかかえると願いが叶うという抱え地蔵が加えられ、現在の形になりました。この地蔵の由来については、よく分かりません。室内は勿論、石灯籠や手水舎にも年代を示すものは見当たりません。近くにあった廃寺の境内に祀られていた地蔵だとか、近くで処刑された人の供養像だとか、行き倒れた行者を弔った地蔵であるなどの言い伝えもありました。また、8月号で紹介した比丘尼の塚との関連を考えた人もいます。いずれにしろ、明確な文書や証拠はありません。地蔵堂にはいつも花が手向けられ、地蔵には新しい前掛けが掛けられています。いまでも自身や家族・知人の安穩を願う多くの人々の信仰を集めているのです。西国街道を旅した人の中には路傍の地蔵に旅の安全を祈った人もいたでしょう。

堂の前を進むと、丁字路で柳ヶ丘団地から下ってきた道と合流し、右に曲がり県道151号線に出ます。県道を隔てて見えるのが永田池です。永田池は文化十二（1815）年の「府中村国郡志御編集二付き下調べ帖」では「ため池 長田」と記され、村内で一番広く、面積4反7畝（約4650㎡）周囲125間（約230m）とあります。現在の永田池が約4500㎡なので、県道の造成で幾分狭くはなりましたが、ほぼ同じ広さです。往時の西国街道はもう少し池のそばを通り、池もよく見えたでしょう。船越峠を越え、府中村の田畑が広がり始める場所です。広島城下を目指す旅人には魚が泳ぎ季節によつては水鳥が遊ぶため池は心を慰める風景だったでしょう。

府中町文化財保護審議会委員
菅 信博

パッと
カンタン！

朝パッ君のかんたんレシピ

家にある野菜で
アレンジも♪



鶏だんごと油揚げのおみそ汁



レシピ提供：お好み体験班
☎朝パッ君ネットワーク
☎286-3257

材料

- ・鶏ミンチ : 100g
- ・しょうが : 1片
- ・酒 : 小さじ1
- ・片栗粉 : 大さじ1/2
- ・にんじん : 1/2 (千切り)
- ・ぶなしめじ : 1パック (ほぐす)
- ・油揚げ : 1/2枚 (千切り)
- ・青ねぎ : 適量 (小口切り)
- ・だし : 2.5カップ
- ・みそ : 大さじ1

作り方

- ① 鶏ミンチ肉をビニール袋に入れ、Aを入れてよく練る。
- ② だし汁を煮立てたら①のビニール袋の端を切り、だんご状に絞りながら、だし汁の中に入れる。
- ③ 鶏だんごに火が通ったら、にんじん、ぶなしめじ、油揚げを入れる。
- ④ みそを溶く。
- ⑤ 青ねぎを散らす。

10月19日は食育の日！ 10月17日～23日は令和3年度「ひろしま食育ウィーク」